

社会の
課題

 自分じゃどうせ変えられないし…
 それで本当にいいの？

高校生に将来の夢や希望を持ってもらうことを目的に活動している、**琉大生グループ「CROSSWISE」**のみなさんが、2月25日北谷高校1年1組にキャリア教育のワークショップをしてくださいました。これは RBC の「SDGsスクールパートナーズ～つなごう沖縄の未来～」の企画です。目的は、「未来を担う沖縄の中高生が、地域に根ざした社会課題を主体的に見つけ、SDGsの視点から解決策を考え、行動する学びのプロジェクト」だそうです。

ワークショップは、「社会の課題」という大きな枠組みではなく、もっと身近な「**北谷高校の課題**」を考察し、**解決策を考えてみよう**というテーマで進められました。1年1組の生徒たちはグループで、学校の課題をあげそれを解決する方策を提案してくださいました。

学校の課題とその解決策として

【課題】ゴミやガムのポイ捨てが多い

- ・週1でゴミ問題についての授業を実施する ・1年に1回おそうじ大会を開催する
- ・防犯カメラをつける ・SDGsについて講演会を開催する

【課題】学年行事やレクや少ない、3年生を送る会がない

- ・学年ごとにレク係を作る ・アンケートを取ってどのくらいの生徒の希望があるか把握する
- ・団結力UPのために学校Tシャツを作る

他にもたくさんの意見があげられました。

ワークショップの最後に、「CROSSWISE」から以下のメッセージが送られました。

自分じゃどうせ変えられないし…そう思っていないですか？

わたしたちはみんな「権利」を持っています。

意見を言う、話を聞いてもらえる「権利」

北谷高校1年1組のみなさんの胸にきつと響いたことだと思います。沖縄の社会課題を見つけて課題解決のための方法を考え、具体的な行動に移していくのはみなさん一人ひとりの役目です。誰もが心地いい、よりよい社会にするために、北谷高校のみなさんの活躍を期待しています！

